



「大漁旗 舞う」  
アーティスト達とみんなのアイドル

●かえで／第58号 ●発行日／2022年6月25日 ●発行責任者／内野 浩二 ●編集／石原 美奈・伊東 孝浩

## 普通に楽しめるって幸せ～。さあ皆さん出発進行！



コロナ禍で制限のある生活を耐え抜いている利用者の皆さんに何とか楽しみを提供できないかと頭を悩ませていました。電車好きの利用者さんも多いことから、貸切列車なら感染症の心配なく楽しんで頂けるのではないかとということで「いすみ鉄道」さんにご相談したところ快諾して下さいました。ピアとしてもいすみ鉄道さんのお役に立ちたい!!と考え、当日の朝、駅舎清掃のボランティア活動を実施しました。

待ちに待った貸し切り列車の出発です。「出発進行!」の掛け声と共に大きな歓声と拍手が起こり、利用者さんには満面の笑みが、今後この企画は、近隣の福祉事業所や支援学校などにもリレー形式で繋げていく予定です。なお、当日は『千葉日報』『福祉新聞』の取材を受け誌面も飾りました。

### ピアの社

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が行われて以降、この話題がニュースに取り上げられない日はありません。連日流されるニュース映像の惨状を目の当たりにし21世紀の現代にも戦争は起こりうるのだと痛感しました。先の大戦を経験していない我々世代も「戦争は二度と起こしてはならない」と幾度も聞かされてきました。しかし、頭のどこかで、この成熟した現代に実際に戦争が起こるとは到底思えないという思い込みがあったのも事実です。マクドナルド・ピースの決定的終焉、そして、今回の事で世の中ありえないことは何もないのだと痛感させられました。

同時に、この惨状の中で、障害のある方々はどうのように過ごされているのだろうかとも考えます。テレビの画面には映りませんが、ニュースキャスターも触れません。視聴率が取れないからか、はたまた関心が無いのか・・・遠い国で起きている自分には関係ない事なのだろうか。

この予測困難の時代。過去の延長線上に未来はありません。戦争・覇権の問題、自然災害や地球の環境問題、貧困や格差の問題。今一度、我が事として真剣に考えなければならぬと強く感じています。私たちの生活は、障害のあるなしに関わらず平和でなければ成り立ちません。世界中の人々が健やかに過ごすことが出来るよう心から祈ります。一日も早く世界から紛争が無くなり、平和な世界が訪れますように。



いすみ鉄道

# 過去の延長線上に未来は無い。 困難・試練に立ち向かおう！



社会福祉法人 土穂会 理事長  
内野 浩二

コロナ禍での施設経営も3期目を迎え、様々な制約のもとでの利用者支援も、ここまで利用者1名の感染者を出さずことなく安定的に行うことが出来ています。これも、利用者ご家族のご理解、そして、法人全職員が一丸となり、無私の心と具体的な行動に取り組んできたことの賜物であると感謝に堪えませんし、このことを誇りにも思いません。この間、永津さいとう医院・木元院長による最新の知見を基にしたより実践的な指導を継続的に受けることが出来たこと、また、いすみ市担当部局の全面的バックアップによるワクチン集団接種や各種資材等の提供などを得たことも本当にありがたいことだと思えます。

しかしながら、このコロナ禍、東欧での戦禍、頻発する風水害・地震などの自然災害、そして諸物価の高騰など、私たちを取り巻く環境は厳しさ・不透明さを増しています。昨年度、法人としては、いすみ市岬町椎木地区に新たにグループホーム事業を実施すべく、用地取得を済ませ建設計画を立てていましたが、やはり、情勢の不透明さもあり、一旦事業を停止し再調整することとしました。

この予測不可能なVUCA（ブーカ）時代。2022年度はどんな一年になるのでしょうか。いや、どういう一年にしようかと考えたとき、コロナ前に戻るということではなく、新たな日常・新たな支援の構築が必要であると考えました。

全ての事業実施に当たっては、まずは衛生支援の徹底及び良好な衛生環境の保持を怠りなく行います。利用者支援提供の継続を脅かすのはコロナだけでは有りません。ひとたび何らかの感染症が入れば、あっという間にまん延し、通常の生活に支障をきたすのが障害福祉現場の背負う運命です。基本対策の徹底・継続により安定運営を図りたいと思えます。

そして、日中活動の充実・再編です。内に閉じこもってばかりではいられません。コロナ禍と時期を同じく世界的な広がりを見せたSDGSの進展とノウフク連携の広がり。

当法人においても、ピア宮敷第1工房を中心に全社で取り組んだ「菜花プロジェクト」により、地域との新たな関係性・ノウフク連携も生まれました（昨年度は菜花の目標売上300万円のところ100万円と農業の難しさを改めて思い知らされましたが・・・）。

2022年度は新たな農地も加え、法人全体でノウフク連携を活用した日中活動に挑戦します。本格的な農業から余暇的な農作業まで利用者の特性・能力に応じて取り組みたいと思います。屋外での活動は、自然治癒力を高め、自己免疫力向上につながり健康増進にも大いに貢献します。

障害者の就労先の拡大、エンパワメントの実践、健康増進、地域貢献活動の活性化、社会参加の経験や余暇活動の充実。何かと大変な時代ですが、大変さも楽しみながら、常にチャレンジ精神を忘れず、日々研鑽に努め、職員間・事業所間・地域とのコミュニケーションをしっかりと図り、地域福祉の一助となるよう事業を行います。

## 夷隅郡市福祉作業所 サービス管理責任者 石原美奈



この4月から福祉作業所にサービス管理責任者として新たに赴任いたしました。これまでは、入所・通所の生活支援員や相談支援専門員を務めてきましたが、部署全体を統括する立場は今回初めての経験であり、事業所内外の仲間の力を借り、やっと数ヶ月経過したところです。

慣れないことだらけで迷惑やお手間を沢山かけていることは間違いないのですが、ここは「新人」と割り切って一からやっていく覚悟で頑張りたいと思います。これまでの経験を生かすことができることは生かして、皆で話し合いよりよく出来るところはリニューアルしていけたらと思います。新しい視点からの新しい風を吹き込み、少しでも福祉作業所の力になれるよう努力していきます。

この福祉作業所は、日中活動は内職作業中心でやってきましたが、昨年度は余暇的な要素も取り入れ、作業になじまない利用者にとっては居場所としての価値を提供しました。今年度からは特に屋外での活動（散策、畑作業、公園での運動など）もより多く取り入れていけたらと考えています。感染症対策は十分に講じつつ、運動不足やストレスの解消に、積極的に身体を動かし、健康の維持・増進に繋げることが出来ればと思います。「頑張る時は頑張る、楽しむ時は目一杯楽しむ」をモットーに、メリハリを持って日々取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## ピア宮敷第1工房 サービス管理責任者 伊東孝浩



第1工房は生活介護と就労支援B型の多機能型となります。職員の異動もあり、慌ただしい日々を過ごしておりますが、利用者様により良い支援が届くように職員の皆さんとしっかりコミュニケーションをとり、よりよいチームとなれるよう頑張りたいと思います。私個人として、今まで入所支援と生活介護事業所を経験させていただきましたが、就労支援は初めてのことで、頭を切り替え、連携を取りながら進めていきたいと思えます。

第1工房といえばノウフク連携ですが、今年度も利用者様のため、地域のために関係各所と連携を取り、継続していきます。菜花プロジェクトですが、3期目を迎えます。昨季は天候等に左右され思うようにいかない年でした。様々なリスクを考えながら、職員間で連携をしっかりと取りどんな壁も乗り越えていきたいと思えます。その他にもハーブの育苗作業を新たに取り入れています。温室を有効に使い、利用者様への作業提供、工賃向上に向け、計画的に取り組んでいきます。また、梨農家さん・お米農家さんとの連携で施設外就労にも取り組んでいきます。ライ麦ストローづくりや委託草刈り、内職作業等と作業種は豊富です。この作業種の豊富さを第1工房の強みとして、利用者様たちにしっかりと計画を立て、作業提供をしていきたいと思えます。また、併設していたカフェの厨房を活用し、食品加工等の作業も検討しております。ジャムづくりやドレッシングづくりなど厨房作業にも力を入れ、おしゃれなユニホームなども検討しています。みんなで楽しく、安全に作業に取り組んでいけたらと思っております。

もう一つの強みとして、ナカボツ（障害者就業・生活支援センター）と相談支援が同じ建物の中にあります。二つの相談機関がそろっているため、第1工房の相談にも乗ってもらおうと思えます（笑）。お互いにしっかりと情報共有を行い、連携を深めていきます。



もちろん、ピア宮敷T課長の奥様がブルーランジェの「Branly(グラン)」さんのクワツサンもお忘れなく☆。（記事：支援員 渡辺ひろみ）



最近メディアに取り上げられることも多い「いすみ市」ですが、その真実やいかに？いすみ市在住の職員目線で地元ならではの「いいところ」等を紹介する不定期企画第2弾！

近年「住みたい田舎ランキング」で、ナンバーワンに選ばれている「いすみ市」実は私もUターン組なのです。20代前半の頃、都内に住んでいたのですが、地元であるいすみ市にどうしても帰りたくなり、帰ってきましたので、その気持ちは良々分かります。



## スポーツ大会 in 千葉公園スポーツ施設体育館 (6/5)

千葉県障がい者スポーツ大会が3年ぶりに開催され、ピア宮敷からは2名の選手が卓球競技に参加しました。

当日は早朝6時出発。久しぶりの外出行事で不安そうな支援員をしり目に、二人ともやる気満々で「いつも通り、大丈夫。」と心強い一言。会場は、コロナ禍ということもあり、無観客の上付き添いの支援員もコートには入れず、例年より静かな大会となりましたが、コートでは回転をかけたサーブ、スマッシュが飛び交う熱戦が繰り広げられました。



大会は年齢別・各ブロックに分かれてのトーナメント戦でしたが、結果は…見事銀メダル1個獲得されました。利用者様は精一杯力を発揮し、とても良い試合内容で頑張りました。両選手ともに、「また参加したい」と既に来年へ向け照準を合わせている様です。次回は大勢で応援に駆け付けたいものです。(記事：齋藤)



## 産業医研修 熱中症と新型コロナの最新の知見 (5/10)

夏を控えたこの時期、コロナ対策にばかり注意を向けるわけには行きません。よほど恐ろしい熱中症に対する心構えと、いざという時の対処について産業医の木元医師にご講義頂きました。先生からは、産業医の立場から、職場環境における暑さ指数(WBGT値)についてのお話がありました。暑さ指数(WBGT)とは人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標です。職場環境のWBGTについて、基準値を大幅に越えた場合、作業の中止を検討する事も必要となります。また、着用している衣類により熱中症のリスクはさらに高まるため、場合によっては通気性の良い衣類に変更したり、換気をするなどの対処が必要です。初夏のこの時期はまだ身体が暑さに慣れていないため、暑熱順化(身体の機能が暑さに適応すること)により体温調節が上手くできるよう、徐々に暑さに慣れて汗を上手にかく事が出来るようにしておく事が大切とのこと。また、いざ熱中症が疑われるという時の対応を分かり易くご教示頂き、各活動班にて実践できるように、さらに研修を行っていく事としました。新型コロナについては、ウイルスの特徴のおさらいから、基本対策の継続をご指示頂きました。熱中症予防、早期発見・重篤化防止にしっかり取り組んでいきます。(記事：石原)



## 古沢小学校との交流会 (5/19)



とにかく感染対策をしっかり行い交流会を実施しましょう、ということで古沢小学校の先生と協議し、サツマイモ育成の「古沢っ子農場」交流会を開催しました。ピア宮敷の畑で1・2年生の皆さんと一緒にサツマイモの苗を植え付けますが、毎年この時期は雨の日が続きます。特に今年はいとくわ雨の日が多く畑の準備が進まず、ヒヤヒヤする日々が続きました。

当日は見事な晴天でしたが、前日までの雨の影響で所々ぬかるんでおり、生徒さんが足が取られてしまう所もありましたが、古沢小学校の皆さま、ピア宮敷みんなの成功させたい気持ちが通じ、無事に植えられました。お楽しみの「おやつのもぐもぐタイム」は実施出来ませんでした。それは収穫祭の時の楽しみにとっておきたいと思います。これからは秋にしっかり収穫することができるよう育成を図っていききたいと思います。(記事：清水)

## 創立記念行事 感謝の集いを開催 in ホテルー宮シーサイドオーツカ (5/28)

本来ですと、昨年の秋にピア宮敷は開所から20年ということで、記念式典を計画していたのですが、当時はコロナ禍の真っただ中ということで止む無く延期。そして、ワクチンの3回の接種が進む今年の5～6月には市中の感染状況も落ちつきを見せるであろうとの予測から式典を再計画。『これまでお世話になった皆様に感謝の意を表したい』との多田会長の思いが通じ、感染も落ち着きを見せ、さらに、走り梅雨の合間の晴天にも恵まれ、社会福祉法人 土穂会 ピア宮敷「創立20周年 感謝の集い」が5月28日に開催されました。会場の装飾や演出は職員で知恵を絞りました。流行のプロジェクトマップや紹介動画などハイテクな演出はありませんが、これまでの歩みを掲載したパネル(夜な夜な製作)展示をしたり、ピア宮敷の自慢である利用者の皆様のアート作品を掲示したり、これまで発行された57号分の広報誌「かえで」を全て掲示し、お客様をお迎えしました。式典では、いすみ市太田市長にご祝辞を賜り、また、当方からはお世話になった方々に感謝の意を表することが出来たのではないかと思います。

そして、勤続20年の職員の表彰セレモニーも行うことが出来ました。地域の皆様、関係各位の皆様のご理解、ご協力がなければここまでやってこられることは到底ありませんでした。これまで支えて下さったすべての皆様に感謝の念を新たに致しました。これからもピア宮敷をどうぞよろしくお願い致します。



前職では二十数年にわたり、セラピストとして「美と健康」に関わる仕事に就いていました。お客様に顔や身体の施術を行うと「気持ち良い」「この手を持って帰りたい!」などありがたいお言葉を頂いてきましたが、ピア宮敷に就職し、まさか、これらの経験を活かせるとは思っていませんでした。コロナ禍で外出などもなかなか出来ない利用者さんにも、この気持ち良さを体感してもらいたいと、昨年度からクラブ活動でハンドマッサージを実施したところ、利用者の皆様に好評で行列ができる程でした。

元々、私は夏でも日焼け止めを付けない外に出ても何とも思っていないんですけど、美容を勉強したこともあり、スキンケアをしっかりしようと思っていて、基礎化粧品で気になるものは購入しお試しを色々しています。また、お肌の為身体の為、発酵食品の勉強も始めています(まだまだまだマニアの域には程遠いですが)。これからは、知識と経験を利用者の皆様に「癒し+美+健康」も届けられるよう頑張りたいと思います。



ピア宮敷では、職員のワーク&ライフの充実を応援しています。ワークに一生懸命に取り組むのはもちろんのこと、ライフにおいても、見聞を広げたり様々な経験・体験を積むことやリフレッシュすることが明日への活力につながるかと考えます。

個性豊かな女性寮職員にあって、リアル癒しのスペシャリスト 末吉明子 支援員の登場です。

平成34年  
8月/6(土)～  
8/28(日)

ピア宮敷  
アーティスト達  
作品展示会  
in 大丸木工所

会場は...  
ピア宮敷 大丸木工所  
〒950-0001 新潟県上越市大丸町1-17-10

お問い合わせ先  
ピア宮敷 大丸木工所  
〒950-0001 新潟県上越市大丸町1-17-10

ピア宮敷 アーティスト達  
作品展示会 in 大丸木工所  
今年も開催！

この夏も大丸木工所様（いすみ市岬町押日）のご協力を得て、アーティスト展示会を開催いたします。8/6～8/28のロングラン展示会となります。ニューアーティストが誕生するのか巨匠の独壇場となるのか。  
どうぞお楽しみに、ご来場お待ちしております。

讃岐うどんの  
おいしいお店 就労体験館「どんちゃん」



いよいよ、夏メニューの中でも大人気の“じゃじゃ麺”シリーズの美味しい季節がやって参りました。開店以来、「細麺のコシがたまらない」と愛され続け、今や3種類の味（じゃじゃ麺、のりじゃじゃ麺、じゃじゃ辛麺）が楽しめるようになりました。コロナ禍も若干落ち着いてまいりましたが、引き続き感染症対策をしっかりと行い、お客様に喜んでいただけるよう努力してまいります。まだ「じゃじゃ麺シリーズ」をお試しいただいたことのない方には、この機会にぜひご賞味いただければ幸いです。スタッフ一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。（記事：石森）

ピア宮敷 夏のギフトのご案内

今年も当事業所自信作の搾りたて純正ごま油のお中元セットが出来あがりました。ごま本来の味と香りが味わえると大好評をいただいております自慢の一品です。大切な方への贈り物にいかがでしょうか？



【お問合せ先】ピア宮敷第1工房  
TEL.0470-87-5200 FAX.0470-87-7801

障害者就業・生活支援センターより

当センターでは、少人数でのミーティングも可能な相談室を整備致しました。プライバシーをしっかりと確保しつつ、地域の方々のご相談をお受け出来るようになりました。さて、当センターは今年度も地域の障害をお持ちの方が働く場の開拓、長く働き続けるための定着支援、仕事をするために必要な生活支援を中心に活動していきたいと思っております。地域で働いて生活していく中で何かご不安なことがございましたら、まずはお気軽にご連絡ください。センター職員一同、誠心誠意ご相談を受けさせていただきます。（記事：主任就業支援員 鶴岡）



ガラスパーテーションを設置し  
プライバシーを確保

相談員のつぶやき

4月1日より本体施設からピア宮敷第1工房に開設された相談室に引越してきました相談員です。現在は障害者就業・生活支援センター（以下ナカボツとする）のメンバーと同じ空間で仕事をしています。私が担当する利用者様にはナカボツに登録されている方もいます。今まではナカボツとは別々の場所にあったこともあり、同じ法人でありながら連携が十分に取れていないこともありましたが、同居することで何かあればすぐに話せる距離にいたので、緊密な連携が取れるようになりました。

また、ナカボツ登録者様の件で悩みごとがあれば、すぐに話を聞いてくれる職員が近くにいるのは心強く、1番のメリットでもあります。逆にこれまで私のメンタルを支えてくれた入所の利用者様と接する機会がほとんどなくなってしまったのはとても残念です。今は第1工房にて新しい癒しを探す日々を送っています。「油売ってるんでしょ...」ですって？ いやだな～、私もピアのごま油くらい売りますよ、皆さん。（記事：相談支援専門員 真田）

**編集後記**  
今号のかえではウイズコロナの施設の在り方が感じられるものになったのではないのでしょうか？ 感染症対策しっかりと講じつつ、基本的な生活を提供していく。久しぶりの行事を開催する事が出来うれしく思います。今年色々なイベントが開催される予定となっております。職員の「行事感」を取り戻すことは急務です。新しい職員にもしっかりと伝えていかななくてはなりません。利用者の皆様が少しでもコロナ前の生活に近づけるような活動を提供できたらと思います。

**配属**  
障害者就業・生活支援センター  
仕事における目標  
大好きな新潟県地域で皆さんが望む生活が出来るようお手伝いを一つずつ丁寧に取り組んでいきたいです。

**ニューフェイス**  
● 隈井 明美  
出身 岐阜県

『ピアフェスタ 2022』中止のお知らせ  
毎夏恒例のピア宮敷納涼祭「ピアフェスタ」ですが、新型コロナウイルス感染の推移を睨み開催に向けた協議を重ねてまいりましたが、ご来場者・参加者への万全の安全確保が困難であるとの結論に至り、止むなく中止とさせていただくことになりました。来年はよりスケールアップした「ピアフェスタ」で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

福祉新聞にて紹介されました

コロナ禍にあっても、感染対策をしっかりと行い日々の活動は止めない。ということで地域活動を継続してまいりました。今年に入り、3回も福祉新聞に日々の活動を取り上げていただき、皆様にご紹介いただく機会を頂きました。

2022 1/25  
農福連携を知って  
東京・上野公園でフェスタ  
地域活性化にも貢献

2022 2/22  
得意分野を生かして協働

2022 5/24  
駅清掃で列車貸し切り  
「福祉」と「鉄道」新たな試み